

- 問1 岡山県の産業の特色について、土地の利用状況と生産品目の組み合わせとして正しい説明はどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 広大な平野部では大規模な機械化農業による稲作が行われ、山間部では冷涼な気候を活かしたキャベツの栽培が盛んである。
 2. 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。
 3. 太平洋に面した温暖な気候を利用して、平野部では茶やみかんの栽培が行われ、臨海部ではオートバイの製造が盛んである。
 4. 火山灰が堆積した広大な台地でサツマイモや茶の栽培が行われ、臨海部ではロケットの打ち上げ施設などが整備されている。
- 問2 中国・四国地方では、中国山地と四国山地という2つの山地が並行するように位置しています。この地形的条件が瀬戸内地方の気候に与える影響を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 冬は北西からの季節風が中国山地に、夏は南東からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
 2. 年間を通じて強い北西の季節風が吹き続けるため、雲が山地を越えてしまい、瀬戸内沿岸には雨が降らなくなる。
 3. 冬は北西からの季節風が四国山地に、夏は南東からの季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が多くなる。
 4. 冬は南東からの季節風が中国山地に、夏は北西からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
- 問3 1988年に岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋が開通したことにより、本州と四国の間の交通事情は大きく変化しました。1985年当時ではフェリーを利用して約120分から160分を要していた移動時間が、現在では自動車や鉄道の利用によって約40分にまで短縮されています。このような交通網の整備が地域に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 本州からの人口流入を抑えるため、橋の利用が貨物列車の運行のみに制限された。
 2. フェリーの利用者がさらに増加し、港を中心とした新しい商業圏が形成された。
 3. 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。
 4. 瀬戸内海の各所で大規模な埋め立てが進み、沿岸部すべてが工業団地へと変化した。
- 問4 中国・四国地方の各県の産業について、統計上の特色を正しく説明しているものはどれですか。なお、工業出荷額は製造品出荷額等指し、農業産出額は各部門の生産実績に基づいた指標を指します。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 愛媛県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、広島県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、島根県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 2. 高知県は工業出荷額が地域で最も高く、愛媛県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、広島県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 3. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高いが、高知県は果実の産出額が最も高く、愛媛県は野菜の産出額が突出している。
 4. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
- 問5 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。
 2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。
 3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。
 4. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。
- 問6 広島県廿日市市の宮島に位置する世界文化遺産について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 島根県に位置し、日本最古の神社建築様式の一つである大社造で建てられた社殿を持つ。
 2. 核兵器の惨禍を伝えるために、被爆当時の姿のまま保存されているレンガ造りの建物である。
 3. 平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造が取り入れられ、海上に立つ大鳥居や社殿が特徴である。
 4. 徳川家康を祀るために江戸時代初期に造営された、豪華な彫刻や装飾が施された神社である。
- 問7 中国・四国地方を地形や気候の特色に基づいて区分した際、日本海側に位置する地域と、本州と四国の間に広がる内海に面した地域をそれぞれ何と呼びますか。適切な組み合わせを選びなさい。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 山陰と北陸
 2. 瀬戸内と中央高地
 3. 山陰と瀬戸内
 4. 山陽と東海
- 問8 ある県の産業統計において、製造品出荷額が約6兆円と周辺の県に比べて突出して高く、その内訳では化学工業が約1.8兆円と大きな割合を占めているという特徴があります。1,504kmに及ぶ長い海岸線を持ち、漁業生産量も一定の規模を保っているこの県はどこですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 広島県
 2. 和歌山県
 3. 愛媛県
 4. 山口県
- 問9 中国地方と四国地方の各県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県は全部で3つあります。その県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 山口県、愛媛県、高知県
 2. 島根県、徳島県、香川県
 3. 島根県、愛媛県、香川県
 4. 鳥取県、島根県、山口県
- 問10 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストローク現象が解消されたからである。
 2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
 3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
 4. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
- 問11 四国地方の高知県では、黒潮（日本海流）の影響による温暖な気候を利用して、ピーマンやなすなどの野菜を、他の地域よりも早い時期に育てて出荷する栽培方法が盛んに行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 近郊農業
 3. 抑制栽培
 4. 施設園芸農業
- 問12 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 児島・坂出ルート
 2. 明石海峡ルート
 3. 神戸・鳴門ルート
 4. 尾道・今治ルート

答え合わせ・解説

問1	答え 2 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。	岡山県は南部が瀬戸内海に面しており、大規模な港湾設備を活かして原料を輸入し、石油製品や鉄鋼、自動車を生産する臨海型の工業が発展しました。これと並行して、県内の中央部に広がる丘陵地では、瀬戸内特有の温暖な気候を背景に、白桃やブドウ（マスカット）といったブランド力の高い果樹農業が確立されています。他の選択肢は、それぞれ北海道や東北、静岡県、鹿児島県の特徴を記述したものです。
問2	答え 1 冬は北西からの季節風が中国山地に、夏は南東からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。	日本の気候は季節風の影響を強く受けます。冬は日本海側から湿った北西の季節風が吹きますが、中国山地がこれを遮るため、山陰側で雪や雨が降り、瀬戸内側には乾燥した空気が流れ込みます。逆に夏は太平洋側から湿った南東の季節風が吹きますが、四国山地がこれを遮るため、四国地方の太平洋側で雨が降り、瀬戸内側には湿った空気が届きにくくなります。この仕組みにより、瀬戸内地方は年間を通じて降水量が少なくなります。
問3	答え 3 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。	瀬戸大橋の開通によって、本州と四国の間が陸路で結ばれ、移動手段が従来のフェリーから自動車や鉄道へと代わりました。これにより移動時間が大幅に短縮され、岡山県と香川県の間で県境を越えて通勤や通学を行う人々が増えるなど、地域間の結びつきがより密接になりました。
問4	答え 4 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。	広島県は瀬戸内工業地域の中核として自動車や鉄鋼などの製造業が非常に盛んであり、中国・四国地方で最大の人口と工業出荷額を誇ります。農業面では、高知県は黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を活かした野菜の栽培が盛んで、野菜の農業産出額が突出しています。また、愛媛県は急傾斜地と日当たりの良さを活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、果実の産出額が高いという特色があります。島根県は果実産出額が突出しているわけではないため、選択肢の誤りに注意が必要です。
問5	答え 4 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問6	答え 3 平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造が取り入れられ、海上に立つ大鳥居や社殿が特徴である。	厳島神社は、広島県宮島にある世界文化遺産です。平安時代末期に平清盛によって、当時流行していた貴族の住宅様式である「寝殿造」を神社建築に取り入れる形で現在の規模に整えられました。潮の満ち引きという自然の条件を巧みに利用し、海上に社殿が浮かんでいるように見える独特の景観を生み出しています。
問7	答え 3 山陰と瀬戸内	中国・四国地方は、日本海側の「山陰」、瀬戸内海に面した「瀬戸内」、太平洋側の「南四国」の3つの地域に区分されるのが一般的です。これらは地形的な障壁となる山地の存在や、それに伴う気候の大きな違いに基づいた区分です。
問8	答え 4 山口県	山口県は瀬戸内工業地域の一角を担っており、特に石油化学コンビナートなどが立地する沿岸部を中心に化学工業が発展しています。そのため、製造品出荷額に占める化学工業の割合が非常に高いことが最大の特徴です。三方を海に囲まれているため海岸線が長く、水産業も盛んですが、農業における果実生産の割合はそれほど高くありません。
問9	答え 3 島根県、愛媛県、香川県	中国・四国地方にある9県のうち、県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県（松江市）、愛媛県（松山市）、香川県（高松市）の3県のみです。鳥取県、山口県、徳島県、高知県などは、県名と県庁所在地名が同一であるため、知識の整理が必要です。
問10	答え 4 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問11	答え 1 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早める工夫をしています。これにより、他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能となり、高い収益を得る仕組みとなっています。これに対し、冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問12	答え 4 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。